

6. 熱間仕上した鋼の機械的性質の方向性
A. R. Toroiano & L. J. Klinger Weld 33-5
1954-209-217
7. 鋼の熱間加工における Cu, Sn の不純物による表面疵の発生
K. Born St. u. Ei. 73-20 1953-24 13
8. 圧延工場における水圧式デスクーリング装置の構造と機能
W. Berns St. u. Ei. 77-9 1957-5 567-576
9. 冶金学的にみた熱間圧延ロッドにおけるスケールの調節
E. L. Knapp Wire & W. Prod. 31-8 1956-8
873-877
10. 熱間圧延時の脱スケール法
G. Nyberg Jernkont Ann. 141-1 1957-1 37-59
11. 圧延機における排水の処理
R. W. Simpson & W. Garlow Steel 33-16
1953-10 90-92
12. コイルコンベヤ装置設計の進歩
I & S E 27-3 1950-3 99-103
13. 新しいコイルつかみ機
British Steel Maker 1954-6 212-213
14. 鋼の腐食と保護被膜の寿命におよぼす熱間圧延被膜の影響
F. Eisenstecken Arch. Eishüttenw. 27-3
1956-3 179-185
15. 非破壊試験による表面欠陥の測定
W. A. Black Blast. Furn. 48-5 1960-5 459-466
16. 摩擦と温度の関係について
I. Sinner, H. O. McMahon & R. J. Bower J.
Appl Phys 22-2 1951-2 177-184
17. 騒音—物理的問題および人間工学的問題として
R. D. Lemmerman I & S E 35-10 1958-10
116-123

後 記

本報告書の提出のありました昭和38年4月以後におきまして、共同研究会鋼材部会は組織の再編成をおこない、昭和38年8月より鋼材部会は解散、新たに下記のごとく鋼板部会、条鋼部会、鋼管部会に分かれ研究活動を行なうこととなりました。

したがいまして本報告書を提出いたしました帯鋼分科会は鋼板部会ストリップ分科会に吸収されました。
(日本鉄鋼協会事務局)

鋼 板 部 会 — { 分 塊 分 科 会
厚 板 分 科 会
— ス ト リ ッ プ 分 科 会

条 鋼 部 会 — { 大 形 分 科 会
中 小 形 分 科 会
— 線 材 部 会

鋼 管 部 会 — { 継 目 無 管 分 科 会
— 溶 接 管 分 科 会